

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営上溝団地特定事業に係る建設工事(1工区) G6棟	階数	地上3階
建設地	神奈川県相模原市中央区光が丘三丁目5691-3ほか2筆	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年3月1日
敷地面積	3,217㎡	作成者	株式会社市浦ハウジング&プランニング東京支店
建築面積	1,138㎡	確認日	2024年3月1日
延床面積	2,411㎡	確認者	株式会社市浦ハウジング&プランニング東京支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.4

LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項		
総合 日本住宅性能表示基準 断熱等性能等級4を超える性能を有し、潜熱回収型給湯器を導入するなど省エネルギーに配慮している。建物利用者が自然に親しめるようにコミュニティ花壇を設ける等、生物環境の保全と創出にも取り組んでいる。		その他 -
Q1 室内環境 日本住宅性能表示基準 断熱等性能等級4を超える性能を有し、外皮性能に配慮。建築材料は、F☆☆☆☆を全面的に使用し、室内空気環境に配慮している。	Q2 サービス性能 バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たし、居住者の生活環境の向上に配慮した。躯体は劣化対策等級3相当とし、更新間隔の長い室内仕上げや耐用年数の長い配管材を採用し、建物の長寿命化に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺のまちなみや景観に対して充実した取り組みをおこない、地域性・アメニティへも配慮している。建物利用者が自然に親しめるようにコミュニティ花壇を設ける等、生物環境の保全と創出にも取り組んでいる。
LR1 エネルギー 断熱性能を省エネルギー対策等級4を超える性能とし、潜熱回収型給湯器を採用することで省エネルギーに配慮している。また、太陽光発電設備を導入し、一次エネルギー消費性能を高めている。	LR2 資源・マテリアル 持続可能な森林から産出された木材を積極的に採用し、脱炭素化と地球環境に配慮している。化学物質排出把握促進法の対象物質を含有しない4種類の建材を使用し、汚染物質含有材料の使用回避に配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される